

全日本ダート トライアル選手権 第1戦CMSC勢1~3位独占! 北村和浩選手(CMSC岐阜)第1・4戦を優勝!



CMSC岐阜 北村和浩

全日本ダートトライアル第1・4戦優勝

昨年の11月、オールスター（広島）に行く途中で
もらい事故に遭い足を骨折し、二ヶ月間の入院生活。
そんな中でランサーE V IIの話が話題になるたびに、
焦りが始めて来ました。

今年1月退院。ランサーE V IIも注文し、とんと
ん拍子に事は運んだと思いきや、納車が遅れている、
それに足回りが悪い等で、まともな焦りました。困
った時の会長頼みで何とか車も仕上がりにいざ本番。
今までのうぶぶんを一気に晴らすかの様にアクセル
を踏み込みベストタイム。昨年暮れから車に乗る機
会も少なくそんな中でのダートラ1戦目で優勝でき
た事は非常に嬉しかったです。

2戦、3戦はそこそこのタイムは出るが勝てませ
んでした。いまいち納得が行かないうちに4戦目
が始まってしまいました。1本目はフラットなコース。
「これなら勝てる」そんな思いからかタイムが伸び
ない。2本目。勝つと思わず自分の走りをして
気持ちを切り替え一生懸命走った結果、ベスト
タイムを出す事が出来ました。この調子で次回も優
勝を目指し頑張ります。

追伸 入院の際には皆様に大変ご心配をおかけしま
した。心からお礼申し上げます。



写真上、第1戦1~3位独占のCMSC勢。左より、1位北村選手、2位荒井信介選手（CMSC群馬）、3位赤羽政幸選手（CMSC山形）。写真下、第4戦も制した北村選手の走り。写真右上、第1戦2位荒井選手の走り。写真右下、第1戦3位赤羽選手の走り。

CMSC岐阜 櫛田正文

全日本ダートトライアル第2戦優勝

CMSC会員の皆さん、元気になっていますか。私、49才になってしまっても頑張っています。まず、今年は全戦入賞と目標を立てました。

第1戦は5位でクリア。第2戦はエボIIにまだ操られ気味で予選ギリギリ通過。夕食のビールも苦く、その夜10年目ぶりのポーリングに誘われました。1ゲーム目、おそろおそろの投げでTOPスコア。これは2ゲーム目200点はいけると、頑張った気力とは裏腹にボールはメロメロでビリ。でも全力投球したら気分はスッキリ、夜もグッスリ眠れました。

決勝当日の1本目。無心無欲でベストを尽くした

今年1勝目。全戦入賞が目標!



タイムが最後まで抜かれずにビックリしました。2本目。路面を見る限りフサフサととれタイムアップできそうでした。気合、気力、欲も満載してスタート。ストレートのブレーキを遅らせ過ぎ、コースアウト気味で一巻の終わり。パドックに戻り、後半ゼ

ッケンのタイムを聞く度にヒヤリ、ニンマリの連続でラストゼッケンの宝田君も終わり、カンゲキ……1勝できました。

これで今年の1勝目標は達成できました。今後も頑張ります。

CMSC群馬 岩田恒廣

全日本ダートトライアル第3戦参戦記

'94全日本ダートトライアル第3戦が4月23、24日栃木県西那須の丸和オートランドにて開催されました。丸和は日本でもハイスピードコースで有名です。全国からの予選参加台数155台中、決勝へ進めるのは120台という厳しい状況でした。特に私の出場するエボリューションのA-4は参加29台中10台が予選落ちになる、ハイレベルの戦いでした。

広いパドックにタイヤメーカー、サスペンションメーカー、各チューニングショップのテント、个性的にカラーリングされている競技車、雑誌でしか見たことのない有名ドライバー等々、いつも

全日本初体験。次は安比だ!

走り慣れているコースなのに自分の気持ちはいつにも増して高ぶりました。高ぶる気持ちを抑えつつ慣熟歩行を一流ドライバーと話をしながら歩く、これだけで満足でした。

1本目、15位。2本目、タイムアップのプレッシャーで頭の中はパニック。色々な事がぐるぐる回って、全日本経験の無い私は自分のコントロールが出来ませんでした。各コーナーをオーバースピードで進入し思い通りに走れず、タイムアップならず21位で予選落ちになりました。予選通過まで5/100秒遅かった! 本当に厳しい世界ですが、これからももっともっと練習して早く決勝で自分の走りが出来るようになるのが夢です。



5月28、29日は岩手県安比第4戦にエントリーだ!!



CMSC帯広 3月13日

雪上練習会

3月13日に更別村の十勝モーターパーク内に設置されたラリーコースを借り切って、今年より始まったスタッドレスタイヤによる雪上トライアルの練習会を行いました。北海道では今年の冬、ほとんどがスタッドレスタイヤによる競技会になっ

スタッドレスでのコツは?

てしまい、当チーム員の成績も全日本ラリーでの小林選手以外は全く芳しくないもので終わってしまいました。

今回の練習会でそのコツを掴もうと走ってはみたものの、結局の所は2トライ目は各車共約10秒のタイムダウンということで、早いゼッケンで走る事が必須条件だったようでした。

ウィンタートライアルは是非スパイクタイヤで行って欲しいものです。(CMSC帯広 中村 洋次)



CMSC札幌 5月1日

スリーダイヤダートトライアル

北海道は冬も終わり、ダート第1戦ジュニアシリーズを初めて開催し、123台と好調なエントリーを集めました。

来季はチャンピオン戦を

小雨の中、運営は宝田選手を中心として、トラブルも無く進行了。終了後、審査委員より「来季はチャンピオン戦をお願いしたい」との言葉をいただき、クラブ員一同とてもうれしく思いました。これからもイベント参加、そして開催に向けて積極的に活動していきます。

(CMSC札幌 吉川 幸彦)



写真班のチョットしたミスで、やっと残った! 枚。